

令和7年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」作文小学生の部 優秀賞（事務次官賞）

「命を守るために」

鹿児島県 鹿児島市立皆与志小学校 4年 川田 菲菜

「どうしよう。ひなんした方がいいかな。」

8月8日の朝、兄のスマホのきん急速報の音で目が覚めました。わたしはあわててテレビをつけました。大雨特別けい報が鹿児島県に発令されていることを知りました。

前日までは晴れの日が続いていたので、ニュースでは「めぐみの雨」と報道されていました。しかし、夕方からふり出した雨は、夜ねむるころになるとはげしくなり、かみなりもなり始めました。はじめはゴロゴロと遠くでなっていたのに、どんどん音が大きくなっていました。ゴロゴロ、ドーン。かみなりが家の近くに落ちて、何度も目が覚めました。その度に、大丈夫かななど不安になっていました。やっぱりふつうの雨じゃない。兄と姉はあまり心配していない様子でしたが、わたしは母が仕事で家にいなかつたので、とても心配でした。兄は大雨のえいきょうでアルバイトにも行けなくなりました。

夕方、やっと母が帰ってきました。

「きり島市は、川がはんらんして土砂くずれも起きているんだよ。道路もかん水して、大変なことになっているよ。」

母からじょうきょうを聞いて、家の近くの川が気になりました。これだけ雨がふれば、川の水もかなりふえているはず。もしはんらんしたらどうしようと思いました。すぐに思いついたのが、「垂直ひなん」でした。わたしの家は2階建てなので、いざというときには2階にひなんできます。でも、はんらんする前にひなんできた方が安心です。ふと、わたしの住んでいる所に一番近いひなん所がどこか、気になりました。そこで、鹿児島市のハザードマップで調べてみました。わたしの通っている皆与志小学校は、ひなん所になっているけれど、こう水や土砂災害のときにはひなんできないしせつになっていました。一番近い他のひなん所に行くには、車でいどうしないと無理だとうことが分かりました。早めのひなんが大事だなと思いました。

持ち出しきれるひなんグッズも必要だなと思いました。わたしの家には、食べ物はたくさんあるけれど、すぐに持ち出せるように準備していません。わたしは、食べ物の他に、毛布やかい中電灯などが必要かなと考えました。今度家族で話し合って、必要なものを持ち出せるように、備えておきたいと思いました。

今回の大雨で、災害が起ったときだけでなく、日ごろから災害に備えて、自分の命を守れるようになることの大切さを感じました。2学期が始まり、わたしは社会の学習で自然災害について学習しています。鹿児島市ではこれまでにどんな災害があったのか、調べてみたいと考えています。かこの災害のひ害や対策を知ることで、これから災害が起ったときに、自分の命を守るためにのヒントにしていきたいと思います。